

J S A 北海道支部ニュース (No. 313)	日本科学者会議北海道支部 事務局 〒 001-0022 札幌市北区北22条西2丁目1-2 静麗荘32号室 振替 02740-1-6811 TEL/FAX (011) 707-2299 Eメール jsa-hokkaido@mc6.sings.jp
---	--

北海道支部 ホームページ：<http://www.jsa.gr.jp/hokkaido/>

J S A本部 ホームページ：<http://www.jsa.gr.jp>

- 2009年度北海道科学シンポジウム開催のお知らせ
1
2009年度北海道科学シンポジウム奨励賞
2
大規模支部対策会議に出席して（江見清次郎）
3
【科学談話室】世界天文年雑感（羽部朝男）

<2009年度北海道科学シンポジウム開催のお知らせ>

今年度の北海道科学シンポジウムは下記のように開催する予定です。会員の方は、一般研究発表にふるってお申し込み下さい。また若手発表についても周囲の院生等若手研究者に宣伝をお願いします。

日時：2009年10月30日（金曜）9時半～17時

場所：北海道大学学術交流会館小講堂（北大正門入って左側）

参加費：一般会員1,000円（学生・院生500円）

午後の市民公開シンポジウムのみに参加される方からは資料代500円頂きます。

<一般研究発表申込み>

期限：9月15日・・・支部事務局まで発表者氏名と発表タイトルをご連絡下さい。

（講演予稿集の原稿締め切りは10月15日の予定です）

2009年度北海道科学シンポジウム（2009年10月30日）予定

○午前（9時半～13時）：一般研究発表（質問時間含め1件20分）。

発表の専門分野は問いませんが、専門外にも分かるような内容を時間厳守でお話し下さい。

・若手発表の部（午前前半）

発表できる者：パーマネントの研究職についていない、大学の学生、院生、研究生、ポスドク、期限付き教員などの若手研究者。連名発表の場合には、発表者が主となって行った研究とします。なお発表者は科学者会議会員外でもよいですが、奨励賞を受賞し

た場合は1年間の入会を義務づけています。奨励賞（若手発表賞）については以下に別途記します。

・一般会員発表の部（午前後半）

発表できる者：科学者会議北海道支部の会員であれば誰でも発表できます。

○午後（14時～17時）：市民公開シンポジウム

北海道民の〈働かされかた〉（仮題）

主報告 川村雅則氏（北海学園大学・労働経済論）

報告 小室正範氏（道労連事務局長）

佐藤誠一氏（働く人びとのいのちと健康をまもる北海道センター）

〔報告者未定〕（全大教北海道）

奨励賞（若手発表賞）選考結果発表、授与式

夕方（18時～）懇親会

＜北海道科学シンポジウム奨励賞（若手発表賞）＞

若手の研究を奨励するための賞で、毎回若干名を選出する。

選考委員会を設置して厳正な選考を行う。

シンポジウム運営委員会と常任幹事の中から5名程度を選考委員として選ぶ。委員の専門分野は、理系・文系を考慮しバランス良く選ぶものとする。

評価基準は、1) 他分野の人が理解できるように簡潔明快な発表の工夫をしているかどうか、2) 研究内容の信頼性・オリジナリティーがあるかどうか、3) 現代的な問題提起がなされて

いるかどうか、などを採点する。

受賞対象者は、パーマネントの研究職についていない若手の学生、院生、ポスドク、期限付き教員等とし、口頭発表した者とする。連名での発表の場合は、口頭発表者が主となって行った研究とする。なお、発表者は科学者会議会員外でもよいが、受賞した場合は1年間の入会を義務づける。

現役会員は、研究室の大学院生やポスドクなどに声をかけ、積極的な発表を促す。

選考結果は、午後の公開シンポジウム終了後に、選考委員会委員長より選考経過の報告を行い発表する。支部代表幹事から賞状と賞金を授与する。

＜大規模支部対策会議に出席して＞

8月26日（日）、東京でJSAの大規模支部対策会議が開かれた。大規模支部とは、おおむね100名以上の会員を有する支部で、北海道、宮城、茨城、東京、愛知、京都、大阪、福岡の8支部が参加した。会員減少が続く中で、大規模な支部での組織強化・会員拡大が非常に重要だとのことで開催された。北海道支部では、事前の常幹会議で、対応を協議してのぞみました。

各支部より事前に提出された「支部活動の現状分析と行動計画」を参考にしながら、報告が行われた。印象に残った点としては、「現職の教員が話す場がないので、JSAが語る会を開いて、語ってもらっている」（宮城）、「定年退職会員のお祝いの集いを開いた」（愛知）などなど。北海道支部常幹会議で提起された学部学生入会の検討については、「読者として登録している」、「準会員制度を作っている」などの経験が出された。

今回の会議における第一の課題であった拠点大学での分会の活動活性化・会員拡大について、十分に議論をすることができなかったことは残念であったが、我が支部でも今後議論・行動をしていきたい。この会議参加支部を中心に、組織強化・会員拡大などの活動の経験交流を密にするため、メーリングリストが作られることとなった。（事務局長・江見清次郎）

- PAGE 3-

4